

JOMF 派遣医師便り (2013. 12)

◆ジャカルタ◆

インドネシアの薬局

JJC 医療相談室

原 稔

ビオフェルミンなどの整腸剤は、日本では市中の薬局で簡単に入手できますが、インドネシアの薬局では売っていません。また、葛根湯も置いていません。

内服薬ではありませんが、テーピングテープもインドネシアにはありません。薬局だけでなく、複数のスポーツショップで尋ねてみましたが、その存在自体を店員が知りませんでした。サッカーやバドミントンがこれだけ盛んな国で、意外な感じがします。

さらに、キズパワーパッドをはじめとする、湿潤療法用の絆創膏も売っていません。医療機関でもあまり一般的ではないようです。

これらは、日本で購入しておくとう便利です。

一方、日本では処方箋がないと手に入らない薬を、一般の薬局で買う事ができます。抗生物質が店頭に並んでいるのを見た時は驚きました。

また、具体的な薬の名前は挙げませんが、慢性疾患の治療薬も、結構な割合で入手可能です。常用している薬を忘れた場合などに、緊急避難的に利用するぶんには便利だと思います。ただし、これらを自己判断で服用するのは危険が伴います。もっとも考えられるのは、高血圧や糖尿病の治療薬の調節です。このような場合は医療機関にご相談ください。

インドネシアの薬局は、日本と比較して自由度が高い印象ですが、自己責任を伴う事は言うまでもありません。上手に利用したいものです。